

第Ⅰ章 専門職としての保育者（保育者になるために）

- 1 専門職とは
 - (1) 専門職の社会的役割
 - (2) 保育専門職の特色と重要性
- 2 専門職養成制度（資格免許取得課程）
 - (1) 免許、国家資格の意味と養成課程
- 3 保育実践の場の理解
 - (1) 保育の専門的施設の役割
 - (2) かけがえのない子どもの日々
- 4 保育専門職を目指す自分（実践者としての基本）
 - (1) 対人援助職としての価値観、倫理観
 - (2) 生活者としての力量（育てる者としての基本的知識・技能・態度）

第Ⅰ章「確認と展開」

第Ⅱ章 実習の基盤（保育現場に関わる前に分かっておこう）

- 1 実習段階の意味と学びの内容、学び方
 - (1) 養成課程における実習
 - (2) 実習の種類と実習の場
 - (3) 学内オリエンテーションの内容
 - (4) 現場の現状理解（事前見学、演習）
 - (5) 実習段階の意味と学びの内容、学び方
- 2 保育現場から（保育所実習を例として）
 - (1) 分かりたい、できるようになりたい気持ちを
 - (2) 保育者との関係づくり
 - (3) 遠慮のない発信を
 - (4) 理論は実践の支えにして
 - (5) 保育の場、保育者を信頼して
 - (6) 応援しています
- 3 実習生としての意識と行動
 - (1) 学ぶ人としての心構え（態度、言葉、行動）
 - (2) 育てる人としての生活習慣
 - (3) 社会人としての基本的態度

第Ⅱ章「確認と展開」

第三章 実習現場の実際と実習生の生活・活動（実習生としての生活の備えをしよう）

- 1 保育所
 - (1) 保育所の社会的役割と保育実習
 - (2) 保育実習の学習計画
 - (3) 保育所の1日と実習生の活動
 - (4) 保育所の職員
- 2 幼稚園
 - (1) 幼稚園の社会的役割と幼稚園実習
 - (2) 幼稚園の1日と実習生の活動
- 3 認定こども園
 - (1) 認定こども園とは
 - (2) 教育・保育内容と1日の流れ
- 4 施設
 - (1) 施設実習を行う意義
 - (2) 各施設の支援目的及び支援内容
 - (3) 各施設における利用児・者の特徴
 - (4) 各施設における職員構成
 - (5) 利用児・者の1日の流れと実習生の活動

第三章「確認と展開」

第四章 保育の計画と実践（保育のPDCAの方法を身につけよう）

- 1 実習の段階と参加の仕方・学び方（各段階で何を身につけるか）
 - (1) オリエンテーション
 - (2) 観察実習
 - (3) 参加実習
 - (4) 部分実習
 - (5) 責任（全日）実習
- 2 保育実践の流れの理解
 - (1) 保育理念・長期指導計画・短期指導計画
 - (2) PDCAサイクル
- 3 指導計画の立て方
 - (1) 実習生の指導案と園の保育理念・方針、指導計画
 - (2) 部分実習指導案の作成準備

- (3) 部分実習指導案の作成
- (4) 責任(全日)実習指導案の作成準備
- (5) 責任(全日)実習指導案作成の手順
- (6) 教材研究（主活動）
- (7) 主活動指導案の作成
- (8) 指導案細案の作成

4 日誌の書き方

- (1) 実習における日誌記入の意義
- (2) 日誌の内容と記入要領
- (3) 実習日誌の例

第IV章「確認と展開」

第V章 実践の場での関わり方（いろいろな場面での動き方を学んでおこう）

- 1 個々の子どもの活動
 - (1) 環境構成への配慮
 - (2) 自由な遊びの発展
- 2 集団での活動
 - (1) 保育者主導の時間の動き方
 - (2) 実習生主導の時間の動き方
- 3 生活習慣場面や予想外の子どもへの対応
 - (1) 食事
 - (2) 午睡
 - (3) 着替え
 - (4) いざこざ
 - (5) かみつき
 - (6) 泣く
- 4 様々な子どもの状態・思いの読み取りと対応
 - (1) 言葉や習慣の異なる子ども
 - (2) 多様な家庭環境への配慮
 - (3) 支援の必要な子ども
- 5 保育の振り返り
 - (1) 自己の振り返り
 - (2) 保育者との振り返り
 - (3) 振り返りの次への活かし方

第V章「確認と展開」

第VI章 教材、活動、支援方法の準備（子どもたちとの楽しい活動のために準備をしよう）

- 1 事前準備の大切な理由
 - (1) 一つひとつを丁寧に進め、準備を具体化に
 - (2) 準備のリストアップと取り組み
- 2 多様な状態、場面に応用できる教材・活動
- 3 子どもの状態、保育のねらいと教材選択（3歳未満児）
 - (1) 3歳未満児の生活場面から
- 4 子どもの状態、保育のねらいと教材選択（3歳以上児）
 - (1) 3歳以上児の生活場面から
- 5 発達に即した教材・活動の例
 - (1) 子どもと楽しむ様々な遊び
 - (2) 活動のイメージと準備

第VII章 関係性理解と自己管理（社会人として踏み出そう）

- 1 保育者からの学び方
 - (1) 保育者から「学ぶ姿勢」を学ぶ
 - (2) 見習う・問いかける・指導を受ける
 - (3) 子どもを守り育てる保育者の子どもへの援助からの学び
 - (4) 自主的判断や行動と指示や援助の仰ぎ方、受け方
 - (5) 指導を消化し、自分のものに
- 2 組織体としての保育現場
 - (1) 実習園組織の理解
 - (2) 地域環境や保護者の状況理解
 - (3) 保育者、保護者等への心遣い
- 3 実習実施に関わる諸事務関連事項
 - (1) 養成校、実習園、指導教員等への報告と御礼
 - (2) 書類の作成

第VII章「確認と展開」

第Ⅷ章 学び続ける保育者（保育者としての自分づくりに向けて）

- 1 今の社会に生きる子どもへの感性（子ども文化、多様な家庭環境と保育ニーズ）
 - (1) 現代社会にアンテナを張る
 - (2) 多様性の理解
 - (3) 新たな保育ニーズに対応していく
- 2 現場体験を生かして自ら伸びていく人になるために
- 3 実習を終えた学生からのメッセージ

第Ⅷ章「確認と展開」

巻末資料

- ◆チェックリスト①実習施設オリエンテーション時に確認する内容
- ◆チェックリスト②実習中の確認事項と持ち物